

公表

## 事業所における自己評価考察票

○事業所名	さくら草学園（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年10月14日		～ 令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	令和7年10月14日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもの状況を踏まえたきめ細やかな療育支援。	新規契約前の見学・体験などの機会を設け、アセスメントをとおして子どもを把握し、支援計画を作成している。	引き続き個々の子どもの状況の把握に努め、きめ細やかな支援を行う。
2	職員の資質の向上を図るため、さまざまなテーマを決め園内研修を行っている。	職員の資質向上の為、園内研修を毎月実施。園外での研修にも参加している。 地域の幼稚園、保育園の職員も参加できる機会を設け、地域全体の資質向上につなげている。	定期的な開催を今後も継続し、職員のスキルアップにつなげるとともに、地域の幼稚園、保育園との連携も広げていけるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のスペースが限られており、活動などの状況によっては人数に比して手狭になってしまうことがある。	自由に使用できる部屋が限られているため、活動の内容によっては空間の利用が制限されてしまうことがある	状況に合わせて使用する時間を分けたり、集会室などを有効利用するなどして、空間の利用方法を検討していく
2	活動内容が固定化されることなく、お子さん達に合わせ様々な活動内容を取り入れていくこと。	お子さんの様子を見ながらカリキュラムを組み立てているが、職員の経験不足などからカリキュラムがマンネリ化してしまう傾向が見られる。	活動内容については今後も工夫し、遊びのバリエーションを増やしていく。そのために研修会への参加や定期的に勉強会を行い、職員のスキルアップに努めていく。
3			

事業所名 さくら草学園（児童発達支援）

公表日 令和 8年 3月 1日

配付数 46

回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	5	0	0	・親子日の保護者が多いときは部屋が狭く感じる。 ・教室以外にも園庭も広く、集会室も思い切り身体を動かせる空間になっている。 ・体操などの特定の活動では狭く、危ないと感じることがある。 ・少し手狭に感じる。	・ご意見ありがとうございます。人数が多い日は空いた部屋や集会室を使用するなど、工夫をしていきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	3	0	0	・フォローが欲しいときにきちんと側にいてくれます。 ・もう少し職員がいるといいかもです。 ・定員7名のところに8名在籍、夏休みなどで兄弟の参加があっても職員の増員がない。人数不足だと思う。 ・活動の進行は2名でも大丈夫だが、特性に対する助言などをいただく余裕がない。	・ご意見ありがとうございます。必要に応じて児童発達支援管理責任者や他クラスの職員が協力して支援にあたります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	8	1	2		・引き続き、写真カード等を使用して見通しが持てるよう、1日の活動の流れを伝えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2	0	0	・設備の古さはどうしても感じる部分はある。 ・古い建物ではあるが、いつもきれいにしてくれているので清潔です。 ・着替えの時に女の子に対する配慮に欠けている。順番を考えるか見えないようにしてほしい。	・ご意見ありがとうございます。令和8年度に新施設への移転を予定しています。それまでは清潔、整頓に努めていきます。 ・着替えにつきましては女の子は先に入室して着替える、パーテーションを使用していくようにさせていただきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	4	0	1	・子どもの気持ちに寄り添い接してくれています。 ・それぞれの子どもの特性に応じて対応してくれています。 ・いすは個々に段ボールなどで調整してくれよく見てくれている。 ・自閉症に特化しているということではない。 ・誤学習につながるかな、という場面や集中力が途切れそうになる流れがたまにある。	・ご意見ありがとうございます。各専門職が連携するとともに、研修などをおして職員のスキルアップを図り、個々に合った支援をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	2	0	2	・子どものことをよく理解してくれています。 ・できないところをよりサポートするよう計画されています。	ご意見ありがとうございます。個別支援計画の内容でわからないことがありましたら、児童発達支援管理責任者や担任へお伝えください、その都度説明をさせていただきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	3	・具体的な支援をされています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1	1	2	・支援、対応の仕方を具体的に特性に合わせて提案されたことがないです。	・ご意見ありがとうございます。必要な支援などについて助言していけるように努めます。

保 護 者 へ の 説 明 等	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	3	0	2	・いろいろな活動でよく工夫されています。 ・活動の予定が3年間ほぼ一緒ではと思われれます。	・ご意見ありがとうございます。お子さんの積み重ねの経験を大切にしていまながら、新しいプログラムも取り入れていけるよう工夫をしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	25	3	2	7	・交流の機会はあるが、数も少なくプログラムも決まっていないので個々で遊んでしまったりと、あまり交流ができていない。 ・交流保育はあまり関わることがなく、交流という感じがしなかった。	・ご意見ありがとうございます。単独グループのお子さんを対象に昨年度から再開をさせていただきましたが、保育園側もどのような交流の仕方が良いのか試行錯誤しているようです。話し合いの機会を設け、より良い交流となるよう努めていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	0	0	1	・言語や心理等の勉強会があります。	・ご意見ありがとうございます。職員と保護者で学び合う機会を今後も設けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	35	2	0	0	・親子日の際、普段の様子を教えていただけると嬉しいです。 ・連絡帳が丁寧に書かれている。親子日があるおかげでたくさん伝え合うことができている。	・ご意見ありがとうございます。引き続き、連絡帳や親子日などの際に、お子さんの様子について共有できるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	2	0	1	・連絡帳や電話等で共通理解が取れています。 ・希望すれば面談可能。 ・面談はあり、悩みを聞いてもらえるが、特性に合わせた助言のイメージはない。	・ご意見ありがとうございます。引き続き、保護者の皆さまが相談しやすい環境づくりに努めるとともに、職員研修等をおこない特性に対する勉強を行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	0	・担任だけでなく事業所すべての職員が積極的に声をかけてくれ共有されている。	・ご意見ありがとうございます。怒談が安心して、楽しく通うことができる環境づくりに努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	3	0	6	懇談会もあり、参観日では父も参加、運動会では家族も参加できます。	・ご意見ありがとうございます。利用していただいているグループにより違いがありますが、兄弟が参加できる運動会などの行事を行っています。懇談会などをとおして保護者同士がコミュニケーションを図れる機会を引き続き実施していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	0	0	1	・聞いたことに対して調べたりしてくださり助かります。	・ご意見ありがとうございます。相談等がありましたら職員へお声をかけていただけたらと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	0		
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	4	0	3	・Xで学園の様子がよくわかる。ほかの事業所のことよくわかる。 ・もう少しSNSを活用してほしい。	・ご意見ありがとうございます。単独グループのお子さんが主となりますが、引き続き、活動の内容などをお伝えできるよう発信していきます。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	2			
非 常 時 等 の	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	0	0	3	・持病があるため緊急時の対応マニュアルを作成していただいています。	・ご意見ありがとうございます。学園では各マニュアルを作成し、それに基づいた支援や訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	0	0	1		・避難訓練はグループにより実施月が異なりますが、毎月実施をしています。消防署立ち合いの訓練や中学校への避難訓練も年1回ずつ実施しています。

対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	0	0	2	・けがなどがあると必ず連絡をくれる。	・ご意見ありがとうございます。事故がないよう配慮しておりますが、万が一発生した場合には速やかにご連絡をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園の話をするようになりました。</li> <li>・毎日とても楽しみにバスに乗り込んでいます。</li> <li>・毎回、帰り道で楽しかったと言っています。</li> <li>・すごく楽しみにしており、先生の名前を家庭でもよく話し、教えていただいた歌を歌って喜んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見ありがとうございます。いつも学園の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。引き続き、お子さまが楽しく安全に過ごすことができるよう職員のスキルアップの向上や環境づくりに努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手厚さに大変満足しています。先生たちとの共有もしっかりできて安心していきます。</li> <li>・手厚い支援でここならできることが増えてきていて、うれしく思っています。</li> <li>・個々の特性に合わせた支援や、具体的な助言があるとよりありがたいです。</li> <li>・感謝しています。</li> </ul>	

事業所名 さくら草学園（児童発達支援）

公表日 令和8年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	3		親子グループの参加人数によっては、集会室を利用するなど工夫をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	2	設置基準以上の職員配置になっている。	配置はされているが、お子さんの状態により手薄感も感じられるため、職員間で協力しながら支援していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	2		建物が古いこともありバリアフリー化は難しい状況となります。来年度に移転が予定されています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	4		老化に伴い落ちない汚れがありますが、環境整備に努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	2	お子さんの状況により、個々に合わせた対応をすることができている。	個別対応できる部屋が環境的に少ない状況となっています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	2	人事評価制度が開始となり、それぞれが目標設定をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	利用者アンケートを実施し、その結果について職員間で共有することができている。	今後も公表を行い改善に活用していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	職員による施設自己評価を実施している。	今後も改善に活用していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	0	定期的の実施し、評価結果について公表を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	内部研修を年間でテーマを決めて、計画的に実施することができている。	今後も園内外において充実した研修を設定し、職員のスキルの向上につなげていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	2	5領域プログラムについて公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	2		アセスメントの把握、技術の向上に努めていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1		今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	2	お子さんの支援や対応について、打ち合わせなどを通して職員間で共有することができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		児童発達支援ガイドラインに関する共通理解を深めていながら、個別支援計画により反映していけるよう努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	リーダー職員を中心に、活動する部屋が重ならないように調整をし、お子さん活動を考えることができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	3		活動の内容がマンネリ化しないよう、工夫をしながら立案していきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1		支援前にお子さんの支援のねらいや取り組みを確認する時間を設けていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1	反省点や次への取り組み方法など、共有をすることができている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	1	日々の支援に関してだけでなく、面談や会議など必要な記録をとることができている。	個別支援計画に対しての記録を残せるようにしていきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		地域の保健師との情報共有については、より連携を図っていただけるように努めていきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				地域自立支援協議会のワーキンググループに児童発達支援管理責任者が参加し連携を図っている。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	0			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	0	STや心理、OT等による助言を園内研修を通して受けることができている。		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	15	1	地域協議会に園長が参加、全体会やワーキングには相談支援員も参加している。		
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	0	地域の公立保育園4園との交流保育を実施し、交流の機会を設けている。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	2	希望があれば面談を行ったり、親子通園日などで伝えるようにしている。			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0	OTやSTによる保護者向けの勉強会を実施している。			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	親子通園日や電話により聞き取りを行ったり、必要に応じて面談を実施している。			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	2	保護者懇談会を実施し、保護者同士の交流の場を設けている。兄弟については運動会への参加をとおして交流の機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	Xにお子さんの活動の様子などを定期的に投稿している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1		職員の意識を高めていけるよう、会議等で確認をしていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	0	毎月1回、学園の開放を実施し、地域の方が利用できるようにしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	業務継続計画を策定し、備蓄品の確保、避難訓練を実施している。	備蓄品の消費期限を確認し、計画的に入れ替えを実施するように努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	0	てんかん発作の対応について、職員全体で園内研修を実施している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	必要なお子さんについては、医師からの指示書をいただくとともに、毎月保護者、関係職員で献立内容の確認を実施している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0	毎月の遊具点検の実施。不審者対策訓練についても実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	ヒヤリハットを職員間で共有し、定期的にその後の状況について検証を行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	年3回虐待防止チェックを実施するとともに、虐待についての園内研修も実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0			